

利島村 ゼロカーボンアイランド宣言

～2050年温室効果ガス排出ゼロ達成に向けて～

太平洋に浮かぶ利島は、豊かな自然環境に囲まれています。一方で、住民の皆様からは、「昔(と言っても50～60年程前)は、海岸の岩に、取り切れないほど群生している海藻があったが、近年はすっかり姿を消している」という話を耳にします。この利島の波打ち際の変化は、単に一地域だけの問題ではなく、近年の地球規模で進みつつある地球温暖化傾向の影響であります。世界においても、同様に、様々な形で現れると予測される生活環境の変化や悪化の回避に向け、温室効果ガス削減に向けた取り組みが、期限付きで求められています(パリ協定)。

利島村では、平成27年度より「再生可能エネルギーを活用した自立・幸福アイランド計画」を作り、太陽光発電や電気自動車の導入と共に、SDGs 達成に向けゴミ等の分別を進め、より再資源化や再生利用を図る取り組みを、住民の皆さんと共に進めています。しかし、今なお利島村では、毎年1000トン(重油換算)以上の燃料を消費し、また地産地消可能なバイオ燃料の有効活用も不十分のまま、大量の温室効果ガスを排出し続けており、これらの状況を早急に変える必要があります。

そのため利島村は、世界の皆さんと気候変動への危機感を共有し、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンアイランド」へ挑戦することを宣言します。

利島村では、以上の宣言の早期実現に向け、再生可能エネルギーの活用を軸としたゼロカーボンアイランド計画と、SDGs 達成に向けた取り組みを、住民の皆さんと共に進めてまいります。

令和3年10月18日

利島村長 **前田福夫**